

天使大学特別研究費等による研究報告会(2012. 3. 22)

チーム医療連携の学習プログラム に関する基礎的研究

研究代表者: 瀧断子

研究メンバー: 長谷川真澄 鈴木美和

荃津智子 高野良子 鈴木純子

I. 研究の背景

1. 全国的な教育・学習の試み

Interprofessional Work (IPW)

専門家 相互に

Interprofessional Education (IPE)

1) 形態

- 多職種連携を学ぶ学部横断型共通科目の設定
- 大学間Consortium

2) 方法

- 講義 演習
- 他職種の職場の実習
- 合同実習

2. 本学の教育目標

- ・保健医療福祉システムの中で専門職者として人々の健康に貢献できる能力を養う

看護学科：保健医療福祉システムの中で、他の専門職と協力して、目標に向け推進する能力を養う

栄養学科：円滑な人間関係を築き、他職種と協働できる能力を養う

Ⅱ. 目的

看護師、管理栄養士のチーム医療連携に必要な能力を習得できるための学士教育課程における教育・学習プログラムを検討する。

Ⅲ. 具体的な目標

- 1) 看護師、管理栄養士が医療の現場において合同でチーム医療連携を学んだ内容を把握・分析する。
- 2) 1) から本学の学士教育課程におけるチーム医療連携の学習プログラムとしての発展の可能性を探る

IV. 研究方法

1. 体験学習プログラムを使用した介入研究

1) 対象: 看護学科、栄養学科4年生 任意参加8名

2) 体験学習プログラム内容

- ①看護学科2名、栄養学科2名の合同チームにする。
- ②協力病院のNSTに加わり合同チームで、2日間で受け持ち患者の栄養アセスメントと支援計画を立案し、栄養アセスメントと立案した支援計画はNSTで発表しコメントを受ける。
- ③2日間の栄養アセスメントと支援計画はNSTに申し送りし、支援の継続を依頼する。
- ④3日目は②から1週間後に、学生合同チームの支援計画による受け持ち患者の状態評価と支援計画の修正を行う。

3) 体験実習期間: 2011年8月4日(木)、5日(金)、11日(木)
の3日間

3. 分析方法

体験前・後の学生インタビュー内容の質的帰納的分析

4. 倫理的配慮

大学倫理委員会・協力病院倫理委員会の承認

学生: 掲示による呼びかけ 対面説明、同意書の取交わし

5. その他

1) 研究を進めるにあたり研究者のNST研修の実施

2) 協力病院の実情把握

平成22年NST加算によるNST稼働の有無等

3) 協力病院との協力体制・内容の打ち合わせ

V. 結果

1. 体験前後の学習の語りの比較 表1

体験学習前カテゴリー	体験学習後カテゴリー
<ul style="list-style-type: none">1. 医療連携は視点のひろがり2. 状況をとらえる判断力3. 必要なコミュニケーション力4. 専門職同士の協力はよりよいケアにつながる5. 求められるチームワーク6. 医療連携に不可欠な専門職同士の理解7. 他の専門職に求める柔軟な姿勢8. 専門職として自らを高める姿勢9. 学生のときから必要な連携を学ぶ機会	<ul style="list-style-type: none">1. 他の専門職との協働で広がる視点2. 専門職として求められるアセスメント力3. 専門職としてのコミュニケーション力4. チーム医療に必要とされるリーダーシップ、メンバーシップ5. 実際の体験で得られる貴重な学び6. チーム医療への興味・関心の広がり7. 他職種学生との協働から得られた学びの充実感8. 体験から見えてきた医療現場での新たな課題

2. 学習プログラムの必要性

- 1) 他の専門領域の人との協働の難しさ実感による学生実習体験としての価値
- 2) 他分野学生との協働による患者受け持ちを通しての実習体験の価値
- 3) メンバーの話し合いによる困難事例に対する意見集約を通しての達成感

3. プログラム実施の要件

導入に当たっては①最終学年で各専門実習が終了していること、②グループメンバー数は4人程度、③臨床の他職種が関わること、④直接、患者と関わる機会があることが挙げられた。

VIII. 考察

1. チーム医療連携に関する理解は、体験学習前の漠然とした内容から学習後は具体的な根拠を示し理解ができている。
2. 医療連携に必要な能力・要素としては専門職としてのアセスメント能力、リーダーやチームメンバーの役割等具体的に表現された。
3. 特に、コミュニケーション能力については、チーム医療連携チームとしての活動のなかでの関係性を構築する過程で実感したものとなっている。
4. 体験学習はチーム医療連携の必要性の実感、動機づけに結びつくことが明らかになった。

ご静聴有難うございました